

## 2018 年度政治学科アクティブ・ラーニング始まる

2018 年度政治学科アクティブ・ラーニングが始まった。昨年度と同様に、「共通講座」が 2018 年 5 月 26 日（土）に開催された。当該アクティブ・ラーニングプログラムは授業ではなく単位にならないが、それぞれのプログラムに参加する学生が約 30 人程度受講し、熱心に講師の話聞き、認識を深めた。

政治学科では、2016 年度からアクティブ・ラーニングプログラムを始めており、2017 年度は南砺、登別、沖縄、東北の各プログラムを実施した。それぞれのプログラムの参加者からは充実した学びになったとの声が多数寄せられていた。それらの声を受け、2018 年度も継続して同じプログラムを実施することにした。

このアクティブ・ラーニングの各プログラムには、聞き取り調査やプレゼンテーションが伴う。そのための技術の習得の一助となるよう、2017 年度からプログラムへの参加者全員が受講する「共通講座」を開催している。2018 年度はそれをさらにグレードアップし、充実した学びとなるよう、土曜日の 3 限、4 限を利用して 2 回（2 日）にわたって開催するよう改善した。

当日の講義内容は、アクティブ・ラーニングの概要説明、「アクティブ・ラーニング日誌」の説明、メールの送受信について、ヒアリングの行い方・進め方について、であった。武田教授、藤井准教授が担当し、力のこもった講義がなされた。

なお、今年度から「アクティブ・ラーニング日誌」の作成が加えられた。当該アクティブ・ラーニングでの学習効果を最大限引き出すためのツールとして、学生と教員の間でやり取りが行われることになる。アクティブ・ラーニングをより良いものへと進化させていくために、様々な取り組みを試行的に行いながら、プログラムが進められている。



共通講座の様子